

日本出版クラブ「洋書の森」主催  
翻訳者のためのウィークエンド スキルアップ講座 第19回

「行動する翻訳者」

# 越前敏弥の

フィクション翻訳  
なんでもQ&A



今回は、いつもの講座とは少々趣向を変え、フィクション翻訳全般についてのQ&A講座です。お答えいただく講師は、『ダ・ヴィンチ・コード』の翻訳者で、最近では翻訳書の読者を増やす活動にも力を注いでいる「行動する翻訳者」こと、越前敏弥氏です！

質問は、フィクション翻訳についてであれば、どんな内容でもOKとのこと—— 「どうすれば、原書1冊を訳す仕事をもらえる？」 「2冊目の仕事につなげるには？」 「原書1冊をどんなペースで訳せばいい？」 「調べ物は？」 「辞書は、何をどう使う？」 「誤訳を減らすには？」 「フィクション翻訳を目指す際、児童書、ミステリ、ロマンスなど、ジャンルを決めるべき？」 「自分のプロモーションは？」 「どうしたら企画書は通る？」 「フィクション翻訳者として生計を立てるには？」 等々、お訊ねしたいことは山ほどありますよね。

こんな機会は、めったにありません。まずはセミナーに参加申し込みをし、質問は、12月4日(金)15時まで、事務局宛てにメールでお送りください。お寄せいただいた難問奇問(!?)について、越前氏にじっくり考えてもらい、みなさんに納得いただけるような回答をご用意いただく予定です。はたしてどんなQ&Aになるのでしょうか、当日が楽しみです。

セミナー後は、引き続き、毎年恒例のクリスマス会です。越前氏も参加なさいます！ 親しくお話しできるチャンスですよ。講座もクリスマス会も、参加人数には制限がありますので、お申し込みはお早めに。

## ◆ 参加要項 ◆

### 日 時

2015年12月12日（土）15：00～17：00（受付開始14：30）

### 講 師

越前敏弥氏（文芸翻訳者）

### 会 場

日本出版クラブ会館・セミナールーム  
（新宿区袋町6番地 都営大江戸線牛込神楽坂駅より徒歩2分）  
<http://www.shuppan-club.jp/>

### 参加費

講座 2,100円

### 定 員

60名（申込順、定員になり次第締切らせていただきます）

「洋書の森」未会員の皆さまもご参加になれます

講座終了後は毎年恒例のクリスマス会（参加費5200円・飲食代を含む）を講師同席のもと17時30分より、会場3F「パピロス」にて開催いたします

参加ご希望の方は同時にお申込みください

### お申込み・お問合せ

お名前・洋書の森会員番号（会員の方）・ご連絡先電話番号、アドレス・参加人数を明記して  
“12/12(講座のみ or 講座・クリスマス会とも or クリスマス会のみ)参加希望、と以下アドレス宛てにE-mailにて送信してください

(財)日本出版クラブ内 「洋書の森」事務局  
E-Mail : [yousho@shuppan-club.jp](mailto:yousho@shuppan-club.jp) TEL 03(3260)5271

## ◆講義内容◆

1. 翻訳者の心構えについて
2. フィクション翻訳のツボ（英文と生徒訳例を比較し、どこを改善すべきかを考える）
3. フィクション翻訳なんでもQ & A

フィクション翻訳に関する質問をお寄せください。（12月4日15時締切）但し、すべての質問に回答できるとは限りませんのでご了承ください。

※今回は翻訳技術の話はあまりしません。以下のふたつにくわしく書いてあるので、これらを読んでもらうか、朝日カルチャーの講座や講演に来てください。

- ・『越前敏弥の日本人なら必ず悪訳する英文』（ディスカヴァー携書、1,000円＋税）
- ・PDFファイル「文芸翻訳入門」（付録もあわせて40ページ程度。翻訳百景のブログから、だれでも無料でダウンロードできます。ダウンロードページへはサイト右側のリンクから行けます）

## ◆講師略歴◆

### 越前敏弥（えちぜん としや）

文芸翻訳者。

1961年、石川県金沢市生まれ。6歳から東京都在住。

学習塾自営、留学予備校講師などを経て、1998年ごろから翻訳の仕事をはじめ。

詳細については『日本人なら必ず誤訳する英文』『日本人なら必ず悪訳する英文』にあるロングインタビューを読んでください。

朝日カルチャーセンター（東京・大阪）翻訳講座講師。

読書探偵作文コンクール事務局メンバー。

翻訳ミステリー大賞シンジケートで、全国翻訳ミステリー読書会のとりまとめを担当。

公式ブログ「翻訳百景」<http://techizen.cocolog-nifty.com/>

ツイッターアカウント @t\_echizen。

## 【著書】

- 2009年 『越前敏弥の日本人なら必ず誤訳する英文』 ディスカヴァー携書  
2011年 『越前敏弥の日本人なら必ず悪訳する英文』 ディスカヴァー携書  
2014年 『越前敏弥の日本人なら必ず誤訳する英文・リベンジ編』 ディスカヴァー携書

## 【長編訳書】

- 1999年 『惜別の賦』 ロバート・ゴダード、創元推理文庫  
『鉄の絆』 ロバート・ゴダード、創元推理文庫
- 2000年 『デッドエンド』 マイケル・レドウィッジ、早川N V文庫  
『氷の闇を越えて』 スティーヴ・ハミルトン、早川ミステリ文庫  
『他言は無用』 リチャード・ハル、創元推理文庫
- 2001年 『ウルフ・ムーンの夜』 スティーヴ・ハミルトン、早川ミステリ文庫
- 2002年 『死の教訓』 ジェフリー・ディーヴァー、講談社文庫  
『飛蝗の農場』 ジェレミー・ドロンフィールド、創元推理文庫  
『狩りの風よ吹け』 スティーヴ・ハミルトン、早川ミステリ文庫
- 2003年 『石に刻まれた時間』 ロバート・ゴダード、創元推理文庫  
『ボーイ・スティル・ミッシング』 ジョン・サールズ、アーティストハウス  
『天使と悪魔』 ダン・ブラウン、角川書店
- 2004年 『天使の遊戯』 アンドリュー・テイラー、講談社文庫  
『父さんが言いたかったこと』 ロナルド・アンソニー、新潮社  
『ダ・ヴィンチ・コード』 ダン・ブラウン、角川書店
- 2005年 『天使の背徳』 アンドリュー・テイラー、講談社文庫  
『デセプション・ポイント』 ダン・ブラウン、角川書店  
『弱気な死人』 ドナルド・E・ウェストレイク、ヴィレッジブックス  
『さよなら、コンスタンス』 レイ・ブラッドベリ、文藝春秋  
『サルバドールの復活』 ジェレミー・ドロンフィールド、創元推理文庫
- 2006年 『天使の鬱屈』 アンドリュー・テイラー、講談社文庫  
『パズル・パレス』 ダン・ブラウン、角川書店【熊谷千寿共訳】  
『「ダ・ヴィンチ・コード」誕生の謎』 ライザ・ログック、角川書店【佐藤桂共訳】  
『映画ダ・ヴィンチ・コード オフィシャル・ムービー・ブック』 アキヴァ・ゴールズマンほか、角川メディアハウス【青木創共訳】  
『ダ・ヴィンチのひみつをさがれ！』 トーマス・ブレツィナ、朝日出版社【熊谷淳子共訳】  
『さよならを告げた夜』 マイケル・コリータ、早川書房  
『容疑者』 マイケル・ロボサム、集英社文庫  
『死の開幕』 J・ディーヴァー、講談社文庫
- 2007年 『ゴッホの宝をすくいだせ！』 トーマス・ブレツィナ、朝日出版社【田中亜希子共訳】

- 『ミッドナイト・キャブ』 ジェイムズ・W・ニコル、ヴィレッジブックス
- 2008年 『運命の書』 ブラッド・メルツァー、角川書店  
『検死審問』 パーシヴァル・ワイルド、創元推理文庫  
『ミケランジェロの封印をとけ!』 トーマス・ブレツィナ、英治出版【生方頼子共訳】  
『還らざる日々』 ロバート・ゴダード、講談社文庫
- 2009年 『Xの悲劇』 エラリー・クイーン、角川文庫  
『検死審問ふたたび』 パーシヴァル・ワイルド、創元推理文庫
- 2010年 『ロスト・シンボル』 ダン・ブラウン、角川書店  
『Yの悲劇』 エラリー・クイーン、角川文庫  
『Six-Words たった6語の物語』 スミス・マガジン編、ディスカヴァー
- 2011年 『夜の真義を』 マイケル・コックス、文藝春秋  
『Zの悲劇』 エラリー・クイーン、角川文庫  
『レーン最後の事件』 エラリー・クイーン、角川文庫  
『解錠師』 スティーヴ・ハミルトン、早川ポケットミステリ
- 2012年 『チューダー王朝弁護士シャードレイク』 C・J・サンソム、集英社文庫  
『ローマ帽子の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【青木創共訳】  
『逆転立証』 ゴードン・キャンベル、RHブックス+プラス文庫  
『シートン動物記 オオカミ王ロボほか』 シートン、角川つばさ文庫  
『フランス白粉の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【下村純子共訳】
- 2013年 『オランダ靴の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【国弘喜美代共訳】  
『ギリシャ棺の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【北田絵里子共訳】  
『氷の闇を越えて(新版)』 スティーヴ・ハミルトン、早川ミステリ文庫  
『暗き炎』 C・J・サンソム、集英社文庫  
『おぎょうぎのわるいピート』 ベス・ブラッケン、辰巳出版  
『エジプト十字架の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【佐藤桂共訳】  
『シートン動物記 サンドヒルの雄ジカほか』 シートン、角川つばさ文庫  
『インフェルノ』 ダン・ブラウン、角川書店
- 2014年 『アメリカ銃の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【国弘喜美代共訳】  
『思い出のマーニー』 ジョーン・G・ロビンソン、角川文庫&角川つばさ文庫【ないと  
うふみこ共訳】  
『シャム双子の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【北田絵里子共訳】  
『支配者』 C・J・サンソム、集英社文庫  
『災厄の町』 エラリー・クイーン、早川ミステリ文庫
- 2015年 『チャイナ蜜柑の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【青木創共訳】  
『シートン動物記 クラッグ クートネーの雄ヒツジほか』 シートン、角川つばさ文庫  
『スペイン岬の秘密』 エラリー・クイーン、角川文庫【国弘喜美代共訳】  
『中途の家』 エラリー・クイーン、角川文庫【佐藤桂共訳】  
『九尾の猫』 エラリー・クイーン、早川ミステリ文庫